



災害時の機材不足に備えて

災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定書

10月9日、市は株式会社アクティオと「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定書」を締結しました。本協定は、重機や給水車など災害時に不足する機材を提供いただくものです。また、株式会社アクティオ代表取締役の小沼社長は、「今後の見通しとして、市の防災訓練やイベントにおいて、展示や体験を行うことで市民への啓発ができないか検討したい」と語りました。



卓球で全国準優勝ペア

バタフライ 第48回全国レディース卓球大会で準優勝

7月26日から27日にかけて開催された「バタフライ 第48回全国レディース卓球大会」で準優勝した石添・荒木ペアが、結果報告のため沼田市長を表敬訪問しました。二人は今回初めてペアを組みましたが、攻めと守りの相性が良かったことから順調に勝ち進み、結果は準優勝となりました。市長との対談では、「今回の銀メダルは神様からの贈り物だ」と準優勝となったことへの驚きと喜びを語りました。



高校生が交通安全を呼びかけ

秋の全国交通安全運動

「秋の全国交通安全運動」に先駆けて、9月19日に栄町三丁目交差点で街頭キャンペーンを実施しました。牛久高等学校の木村 吟さんが「誓いのことば」を宣誓。同校の生活委員会の生徒も参加し、牛久市交通安全団体の皆さんと合わせて約80人で、ドライバーや歩行者の方に啓発品を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



こどもあんぜんマイスター

市立保育園が茨城県内初の認定

市立保育園(下根・栄町・つつじが丘)3施設と在籍する保育士等46人が、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の「こどもあんぜんマイスター」に認定され、10月14日に認定証プレート等の授与式が行われました。「こどもあんぜんマイスター」とは、同社の「事故防止に関するプログラム」を修了することで「安全・安心面に関する質の高い保育者」として認定されるもので、県内では初の認定となりました。



工事の安全を祈願 東端穴土地区画整理事業

現在、ひたち野地区周辺で新たな宅地供給を目的に、東端穴町地内で組合施行の土地区画整理事業が進められています。令和7年10月から造成工事に着手する運びとなり、工事の安全を祈願するために、9月28日、事業地内において安全祈願祭を開催しました。
【面積】10.5ha 【計画人口】1,000人
【施行者】東端穴土地区画整理組合 【換地処分】令和10年度中





練習の成果を世界で発揮

アーティスティックスイミング・世界ユース選手権出場

8月26日から30日にギリシャ・アテネで開催された「WORLD AQUATICS ユースアーティスティックスイミング選手権」に出場し、デュエットで銀メダルを獲得した宮崎華歩さん(下根中3年)が沼田市長を表敬訪問しました。宮崎さんは「初めての世界、緊張した。今後の大会もがんばりたい」と世界大会出場の感想と抱負を語ってくれました。今後のさらなる活躍を応援しています。



高齢者の介護予防を推進

シルバーリハビリ体操3級指導士が新たに誕生

9月19日、「シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会」を修了した7人が3級体操指導士となりました。この体操は、県で考案された介護予防体操で、指導士が各地区の通いの場で体操を実践し、介護予防に取り組んでいます。体操を始めたい方は、ぜひお近くの会場にお越しください。実施状況等については、医療年金課(☎内線1728)までお問い合わせください。



宝くじ助成金をコミュニティ活動に活用

本町行政区に助成金による備品を整備

宝くじの社会貢献広報事業として一般財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源に実施しているコミュニティ助成事業の助成金(250万円)を活用し、本町行政区ではエアコン・掃除機・液晶テレビ・ノートパソコン・草刈り機など全14種類の備品を整備しました。これにより今後一層の地域コミュニティ活動の充実が期待されます。



障がい福祉の充実・発展を求めて

牛久市障害者連合会が要望書提出

10月10日、市障害者連合会が沼田市長に障がい福祉に関する要望書を提出しました。要望書では障がい児・者に寄り添った福祉サービスの充実、障がい児・者に対する理解不足や誤解等から生じる課題の強化等を求めています。福田進久会長は、「住み慣れた地域で自分らしく生き、みんなで幸せ地域作りを目指し、障がい者と健常者の共生社会の実現を目指して福祉の充実を図っていただきたい」と話しました。



寄附

温かい善意ありがとうございます

明治安田生命保険相互会社から

市と包括連携協定を締結している同社から、地域住民の健康づくりや暮らしの充実のため、「私の地元応援募金」793,798円を寄附



障害者への理解をスポーツで深める

令和7年度地域身体障害者スポーツ大会

9月27日、牛久運動公園で地域身体障害者スポーツ大会が開催されました。当日は牛久市民をはじめ多くの近隣市町村から約270人参加し、各市町村ごとにチームとなり輪投げ競争やフライングディスク、リアル野球盤などの競技が行われ優勝目指して競い合いました。競技中は選手に対しがんばれ！と応援の声やファインプレーには歓声が上がり、会場は終始、盛り上がりしました。



夜空をライトアップ

後世に繋げ！夜空に彩るランタン祭り

10月18日、牛久シャトーで「後世に繋げ！夜空に彩るランタン祭り」が開催されました。当日は約2,000人の来場者が各ブースを楽しみ、LEDスカイランタン®を上げる準備のため、思い思いのメッセージやイラストをランタンに書き込みました。全171基のランタンが牛久シャトーの夜空に輝き、色とりどりの光に来場者からは感動の声が聞こえました。また、牛久栄進高等学校・東洋大学附属牛久高等学校の生徒約60人が、イベントを盛り上げるためボランティアとして参加しました。



日本初開催、デフリンピック

東京2025デフリンピックPRキャラバンカーが市役所に

聴覚に障がいがある人たちが出場する国際スポーツ大会、第25回「夏季デフリンピック競技大会東京2025（東京2025デフリンピック）」のPRで全国を巡回しているキャラバンカーが10月17日、市役所にやって来ました。

キャラバンカーの到着に合わせて、庁舎前で手話による啓発活動やメダルの展示が行われ、来庁者に応援を呼びかけました。なお、同大会は11月15日から26日に東京都を中心に開催されます。ぜひ、皆さんで応援しましょう。



◀東京2025デフリンピック公式HP

新デザインマンホールを設置

うしく広報大使コラボマンホールふた設置

9月26日、新たなデザインマンホールとなる「うしく広報大使コラボマンホールふた」を設置しました。

このデザインマンホールは、下水道への理解と関心を深めていただくほか、住民の皆さんや観光で訪れる方々に牛久市がTVアニメ「ラブライブ！スーパースター!!」に登場する場所であることを知っていただき、見て楽しんでいただくことを目的としています。

【マンホール設置場所】

JR牛久駅東口ロータリー横
牛久駅東歩道橋手前
(牛久市中央5丁目9-8)



翅の裏側が薄茶色と白の波模様をした小型のチョウで、牛久では晩秋に多く見られます。後翅にある1対の尾状突起と目玉のような黒斑が、翅を閉じたときに頭のように見えるため、天敵から頭部を守るためのカモフラージュになっています。熱帯地方に広く分布するチョウで、幼虫はマメ科の植物を食べて育ちます。日本では九州や四国の南部で越冬し、暖かくなると、その土地で育つマメ科植物を食べて世代交代を繰り返しながら北へと分布を広げていきます。野生のマメ科植物のほかにも、畑で栽培されるエンドウ、インゲン、大豆なども食べ、夏の終わりに関東地方、秋には東北地方から北海道まで分布を広げますが、寒さに弱いので越冬地以外のものはすべて死んでしまいます。毎年、北上と全滅を繰り返しているように見えますが、近年、越冬地に変化があるようです。



令和
7年度

牛久市中学生平和使節団

～戦争の悲惨さ、平和と命の尊さを伝える～

牛久市中学生平和使節派遣事業として、市内中学校・義務教育学校の代表生徒18人が、事前研修で未来創造課文化財・シャトー活用推進室の職員(学芸員)による「戦争の時代と牛久」の講話を聞き、7月30日から2泊3日で広島市を訪問しました。

広島では、平和記念公園や各資料館の見学、被爆者による被爆体験講話、放射線影響研究所の見学を通して戦争の悲惨さや平和と命の尊さなどについて学んできました。訪問を終え、実際に「見て・聴いて・感じたこと」を各学校の「平和の集い」等で、より多くの人に伝えていきます。

また、広島訪問後、10月16日～20日の5日間、市民文化祭の小中学校作品展にて、広島訪問で学んだことを多くの市民の皆さんに見ていただく機会を設けることができました。期間中は多くの来場者が、生徒が作成したスライドや報告書などに見入っていました。

代表生徒18人が広島訪問で感じたことや学んだことを市ホームページで紹介しています▶



1・2 平和記念公園を見学し、ガイドによる説明に聞き入る生徒たち
3 平和資料館 4 袋町小学校見学 5 被爆体験者・梶本淑子さんの講話



うなぎさん、いってらっしゃい!

牛久沼へうなぎを放流

9月27日、「牛久沼うなぎ放流会」が実施されました。この事業は、牛久ロータリークラブ、牛久沼漁業協同組合、牛久市家庭排水浄化推進協議会と牛久市の共同で開催されたものです。当日は34人の子どもたちと一緒に約700匹のうなぎの稚魚を放流。初めての体験に子どもたちだけでなく家族も一緒に、環境について学び、楽しむことができました。



牛久の秋の味覚、うしく河童大根

秋冬大根目揃会

10月10日、JA水郷つくば牛久支店営農経済課でうしく河童大根の秋冬大根目揃会が行われました。JA水郷つくば大根生産部会の山越隼人部会長は「今年の秋冬大根は播種期の高温・干ばつの影響を受け、厳しい状況ではありましたが、茨城県銘産地指定に恥じない立派な大根ができました」と述べました。また、当部会から牛久市の小中義務教育学校へうしく河童大根を寄贈していただき、今後子どもたちの学校給食として使用されます。



100歳おめでとうございます！ 100歳のお祝い訪問

牛久市では、今年度24人の方が100歳のお祝い「百寿」を迎えます。生誕から一世紀を迎えることから、「紀寿」とも呼ばれています。9月26日には、森ヶ崎とし子さん、石添トシさんの2人を沼田市長が訪問し、内閣総理大臣からの褒状・記念品、県知事からのお祝い状を手渡しました。市長はお二人にこれまでの時代を築いてくれたことへの感謝とお祝いの言葉を伝え、同席した家族の方も交えて、楽しく時間を過ごし、長寿の秘訣などの話を聞きました。市では、多年に渡り、市の発展にご尽力くださった高齢の皆さんが、いつまでも元気に過ごせるようにこれからも支援していきます。どうぞこれからも心豊かな毎日をお過ごしください。100歳おめでとうございます！※11月1日現在、市には100歳以上の方が73人、最高齢は107歳になります。



▲森ヶ崎とし子さん



▲石添トシさん

牛久市消防団の消防車が新しくなりました！ 第27分団(大和田中央)・第30分団(小坂団地)に消防車納車

10月4日、消防団納車式が行われ、納車車両は第27分団(大和田中央)と第30分団(小坂団地)へ引き渡されました。

今回納車した消防車は軽自動車であり、その特徴を活かし狭い道や場所にも対応可能。火災等の災害から市民を守るため活用されます。

また、納車式では旧消防車への感謝を込めて、積載されていた可搬消防ポンプを展示しました。



毎月19日は食育の日「いただきます」と「ごちそうさま」は感謝の気持ちの合言葉

かぼちゃの焼きコロッケ

サクサクの衣とかぼちゃの甘さが、よく合います。油も少なく、後処理も比較的簡単♪

問 健康づくり推進課
(保健センター内) ☎内線1744

材料 (4人分) 1人分342Kcal 塩分0.9g

かぼちゃ……………1/4個(400g)	こしょう……………少々
卵……………1個	小麦粉……………大さじ2
玉ねぎ……………1/2個(100g)	パン粉……………大さじ4
合いびき肉(牛・豚) ……200g	サラダ油……………大さじ2
塩……………小さじ1/2	レタス・トマト ……お好みで

作り方

- ①かぼちゃは、皮を取って4～5cm角に切り、ラップをして電子レンジで4分間程度加熱する。竹串が通るまで柔らかくなったら、熱いうちに潰す。
- ②卵を割って卵黄と卵白に分け、卵白には水大さじ1(分量外)を加える。
- ③みじん切りにした玉ねぎと合い挽き肉をフライパンでパラパラになるまで炒め、塩こしょうで味を整える。
- ④潰したかぼちゃ、卵黄、③を混ぜ、8等分してそれぞれ小判型に成型する。
- ⑤④を、皿やバットに広げた小麦粉→卵白→パン粉の順にくぐらせる。側面にもしっかりつける。
- ⑥フライパンにサラダ油を熱し、フライ返しを使って⑤をそっと入れ、両面を焼く。
- ⑦皿に盛り、レタスとトマトを添えてできあがり。

一口メモ かぼちゃの皮は完全に取らずに少し残すと、食感のアクセントになります。かぼちゃを電子レンジで加熱しても硬い場合は、上下を返したり位置を変えたりしながら追加で加熱してみてください。

牛久市食育推進のための野菜キャラクター「USHIKU野菜オーケストラ」レタナ

FMうしくうれしく放送(周波数85.4MHz)で、平日午前9時30分から「USHIKU野菜オーケストラ」レシピを放送しています！